

# 「エゾシカ緊急対策期間」の設定について

北海道環境生活部自然環境局野生動物対策課

道内のエゾシカ推定生息数は、平成 22 年度から平成 26 年度までの「緊急対策期間」において捕獲強化に取り組んだことにより、平成 23 年度の 77 万頭をピークに一旦減少しましたが、平成 30 年度の 65 万頭から増加に転じ、令和 4 年度には 72 万頭まで増加したと考えられます。



一方、エゾシカによる農林業被害額は、侵入防止柵の設置による防除対策に取り組んだこと等により、平成 23 年度の 6,409 百万円をピークに減少傾向にありましたが、平成 30 年度の 3,858 百万円から増加に転じ、令和 4 年度には 4,846 百万円まで拡大しています。

また、エゾシカが関係する交通事故発生件数は令和 4 年に 4,480 件、列車支障発生件数は令和 4 年度に 4,273 件となり、いずれも過去最多となっています。

このように、人とエゾシカとの軋轢が深刻化していることから、道では、北海道エゾシカ対策推進条例に基づき、緊急にエゾシカの捕獲等の措置を強化する必要があると判断し、令和 6 年 1 月から令和 8 年 12 月までの 3 年間の「緊急対策期間」として設定し、エゾシカの捕獲等の実施主体その他関係する機関及び団体と連携協力して、エゾシカの捕獲等を重点的に推進することとしました。

期間中の取組を通じて、北海道エゾシカ管理計画（第 6 期）に掲げる「適正な個体数管理」と「捕獲個体の有効活用」を推進し、人間活動とエゾシカとの軋轢の軽減、エゾシカと人間の共生、及び本道の豊かな生物多様性の保全とその持続可能な利用を目指します。

## ○ 「エゾシカ緊急対策期間」設定期間

令和 6 年 1 月 ～ 令和 8 年 12 月（3 年間）

## ○ 道民の皆様へのお願い

「適正な個体数管理」を推進するため、道が作成した「エゾシカ捕獲推進プラン」に掲げる捕獲目標数の確保が必要です。特に、個体数を効率よく減らすには、毎年子シカを出産するメスシカを積極的に捕獲することが重要です。

また、捕獲対策を円滑に進めるためには、「捕獲個体の有効活用」を広げることも重要です。食肉の利用をさらに推進するほか、ペットフードへの利用や皮革製品への利用、角などその他部位の利用など、エゾシカ有効活用の推進と、狩猟を含めたエゾシカ捕獲対策にご理解・ご協力をお願いします。

表.「エゾシカ捕獲推進プラン」（単位：頭）

		R5	R6	R7
捕獲目標数(全道)		185,000	185,000	185,000
うち、 <u>メス</u>		105,600	111,100	116,700
内 訳	狩 猟	30,000	30,000	30,000
	許 可	155,000	155,000	155,000

